

【京都一覽圖畫】(五雲亭貞秀図)

京都府立大学文学部 + 京都府立京都学・歴彩館合同企画展示会

第八回 府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学

— 京都府立大学の学生・大学院生が企画した歴彩館所蔵古典籍・資料展 —

私たち京都府立大学文学部と京都府立京都学・歴彩館は、各種の授業連携を通じて、歴彩館所蔵資料の調査・研究・活用を行っています。この展示は、文学部の各学科と歴彩館のコラボレーションの成果を広く公開するものです。学生たちが歴彩館資料の豊かさを多様な角度から紹介します。どうぞお楽しみください。

会期

令和7年 12月13日(土) ~ 令和7年 12月27日(土)

時間 9時 ~ 17時

会場 京都府立京都学・歴彩館 1階 展示室

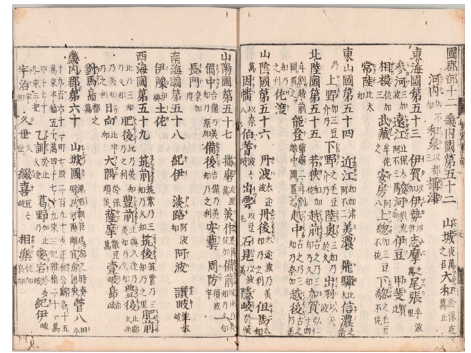
参加費 無料

主催 京都府立大学文学部 京都府立京都学・歴彩館

問合せ先 京都府立大学 学務課文学部事務担当

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1番地5 Tel (075) 703-5117

「日本語のアーカイブ」と題し、古代から近代にいたるまで、日本語がどのような資料に記録され、どのように研究されてきたのかをたどります。古辞書や文法・文字に関する江戸時代の研究書、『万葉集』『仕懸文庫』等の文学作品など、歴彩館が所蔵する、日本語研究で利用されてきた様々な文献を展示します。



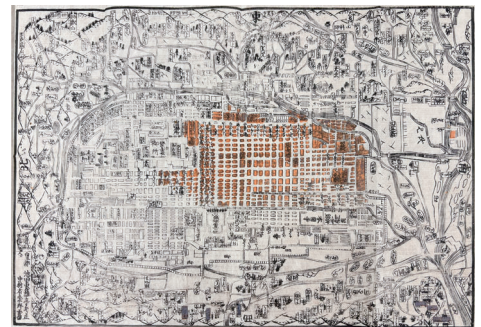
『倭名類聚抄』

「欧米人が見る京都の竹文化」をテーマに、アジア、日本、京都に欠かせない存在である「竹」という材料を国際文化的なあらゆる側面から分析します。例えば、海外からの観光客に人気の観光スポットである嵐山の竹林、竹でできている籠や茶道具などの京竹工芸品、竹で作られている楽器：尺八や篠笛、あるいは食べ物としてのタケノコ、竹に関連する世界で有名な日本昔話『竹取物語』やトーマス・エジソンの電球に使われた石清水八幡宮の竹などについて歴彩館所蔵史料から紹介します。展示解説を12月15日(月)11～12時に行う予定です。



『坪井竹類圖譜』

京都学・歴彩館の史料を使って研究する授業「日本文化史研究」の成果を紹介します。今年は戦後80年の節目の年でもあり、「京都の戦争」を全体テーマとしつつ4つの班に分かれて、「中世の戦乱」、「幕末の動乱」、「深草の陸軍第十六師団」、「戦争と慰霊」に関わる展示を予定しています。学生による展示解説を12月18日(木)13～14時に行う予定です。



「元治元年の大火の焼失箇所かわら版」(福長町文書)

アクセス

- JR・近鉄京都駅、阪急烏丸駅から
京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」下車(①出口)南へ徒歩約4分
 - 京阪出町柳駅から
京都市バス1 府立大学前(北大路通)下車北へ徒歩約6分
 - JR 二条駅から
京都市バス206 府立大学前(北大路通)下車北へ徒歩約6分
- 会場へは便利な京都市営地下鉄・市バスをご利用ください。

